

**眼科杉田病院で診療を受けられる（受けられた）患者さんへ**  
 …… 臨床研究に関する情報公開について ……

当院では、以下の臨床研究を実施しております。

この臨床研究の対象者に該当する可能性のある方で、カルテ情報等の診療情報を、この臨床研究のために利用されることについて、ご了承いただけない場合には、この臨床研究の研究対象とはいたしませんので、患者さんもしくは患者さんの代理人の方は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。このことによって、患者さんに不利益が生じることはありません。

この臨床研究の詳細についてお知りになりたい場合も、下記の問い合わせ先にご連絡下さい。ただし、臨床研究の詳細については、他の研究対象者その他第三者の個人情報や知的財産の保護に支障がある場合には、開示できないこともあります。その意味では限られた範囲内の情報開示となることもあります。

研究課題名	トーリック度数計算式への惹起乱視入力値の検討		
研究実施期間	(西暦) 承認日 2022年8月10日～2024年3月31日		
研究実施診療科	眼科		
研究の倫理審査等	臨床研究審査委員会審査日	2022年8月10日	
	院長が研究実施を許可した日	2022年8月10日	
対象となる方	当院にて下記対象期間中に杉田威一郎院長執刀で白内障手術を単独で施行し、その際に乱視を矯正する眼内レンズを挿入した方。		
対象期間	(西暦) 2019年6月1日～2020年1月31日		
研究責任者	所属	医局	氏名 杉田威一郎
研究の意義・目的	白内障手術の際に、目の状態によっては、乱視を矯正することができるトーリック眼内レンズを使用されることも広く行われています。乱視矯正の程度を決めるのに、目の中での眼内レンズの深さの予測値や角膜の表面や後面の形状を加えて計算することで、その精度が上がってきています。またこの計算に用いる、手術により引き起こされる乱視の推定量を数学的に取り扱う方法も、従来の方法（倍角座標ベクトルの平均値）と新しい方法（倍角座標ベクトルの重心であるセントロイド値）とが出てきています。今回この2種類の取り扱いの方法で、乱視矯正の予測精度に違いがあるのかを後ろ向きに検討することとしました。		
研究の方法	上記対象期間に該当する手術をなされた方の診療録より、術前の視力、屈折値、角膜屈折値、眼軸長等の眼内レンズを計算するのに用いたデータと、術後1か月での視力、屈折値、角膜屈折値を採集します。		

	<p>その上で、得られた術前のデータから従来の計算法と新しい計算法で乱視・屈折値の術後予測値をそれぞれ算出し、実際術後1か月後に得られた乱視・屈折値とを比較検討することになります。</p>
研究に使用するもの	<p>診療録から得られる以下の情報を使用します。 視力、屈折値、眼軸量、角膜屈折値、使用した眼内レンズ情報</p>
結果の公表	<p>関連学会等で発表し、学術論文に投稿する予定です。研究対象者の氏名等、個人を特定できる情報を公表することはありません。</p>
個人情報の保護	<p>対象者の方の診療情報を使用する際に、個人を識別する情報を取り除き、研究番号を付けて個人情報を保護します。研究に関するデータを取り扱う際は、厳重にパスワードをかけ、個人に繋がる情報は院外に持ち出しません。</p> <p>研究責任者の責任の下、研究終了期間から1年経過後にはデータを削除し破棄します。ただし、二次利用することが認められた場合には、その研究が終了するまで管理し保管します。そして、その研究が終了したところで破棄します。当院の個人情報管理者は杉田威一郎が行います。</p>
研究の資金源	<p>本研究の資金は、当院の研究費を使用します。外部からの資金提供はありません。</p>
利益相反	<p>この臨床研究の実施にあたり、研究の透明性や公正性を損なうような利益相反はありません。</p>
情報等の二次利用	<p>この臨床研究に限らず、他の眼内レンズおよび乱視に関連する臨床研究に本研究を利用する場合があります。その際、当院の倫理委員会の承認を得られた上で使用します。</p>
問い合わせ先	<p>医療法人社団同潤会 眼科杉田病院 杉田威一郎 電話番号 052-251-6571(病院代表番号)</p>